

最北の森林

平成25年度管内概要



礼文島から臨む利尻山



宗谷森林管理署

国有林のあらまし

【自然的条件】

宗谷流域は、日本最北に位置し、全国森林計画で定める天塩川広域流域のうち宗谷総合振興局管内（幌延町の区域を除く。）の1市7町1村で構成され、その範囲は、東西約148km、南北約100kmに及んでいます。

宗谷流域の面積は、約40万5千ha（全道の5%）で、東部はオホーツク海、西部は利尻島・礼文島がある日本海に面し、その約7割を森林が占めており、流域面積の約4割の約16万haが国有林です。

流域の北部の森林は、過去の度重なる火災等により失われた後、再生されずに未だ笹生地となっているものが見られます。

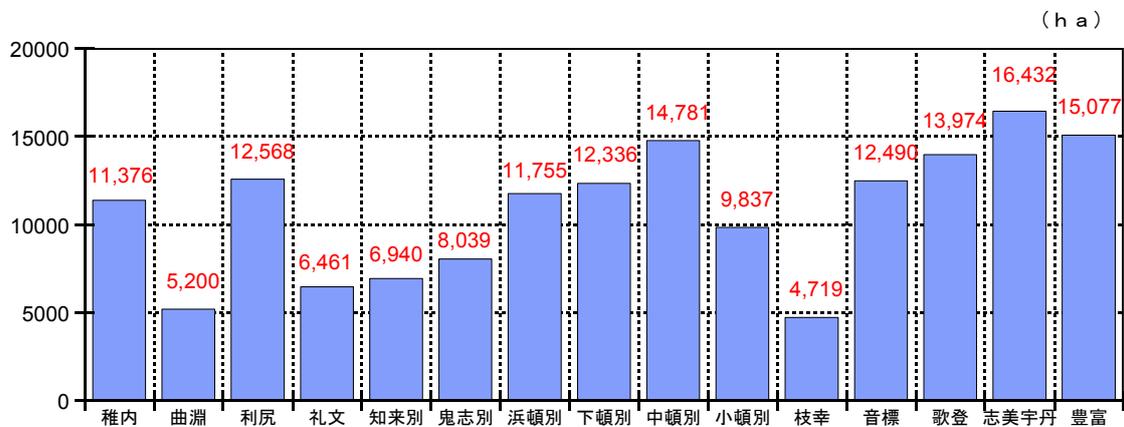
なお、高緯度地方の特色ある自然環境を形成しており、利尻礼文サロベツ国立公園、北オホーツク道立自然公園等に指定されています。

利尻島：利尻山（1,721m）を頂点とする円錐形状をなしており、利尻富士町側は、針葉樹の天然更新が良好で、ha当たり200~300m³の箇所もあります。

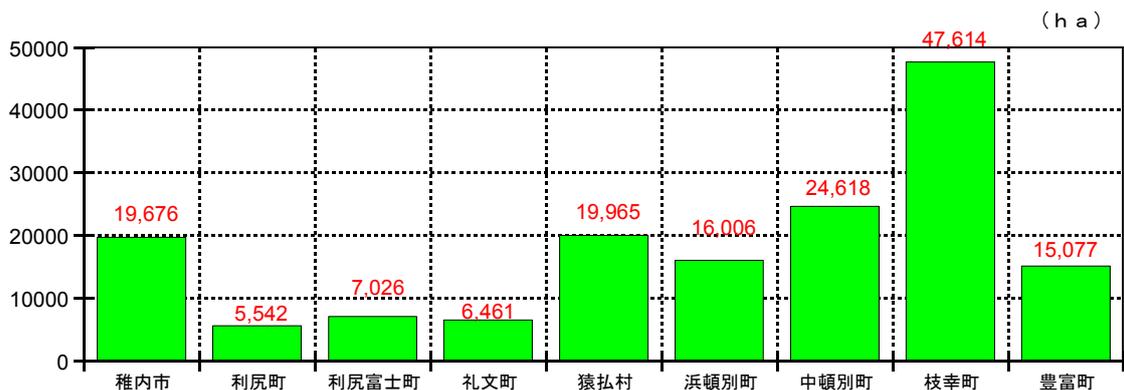
礼文島：礼文岳（490m）を最高峰とする低丘陵地帯の地形で、東海岸や中央部低地に針広混交林が見られるほかは、過去の度重なる森林火災等により、未立木地や笹生地が多くなっています。

【国有林の面積】 161,985ha ※平成23年4月樹立の第4次国有林野施業実施計画書等による。（以下同じ。）

（1）森林事務所別面積

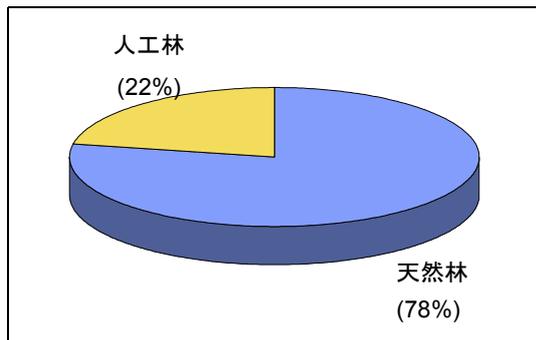


（2）市町村別面積

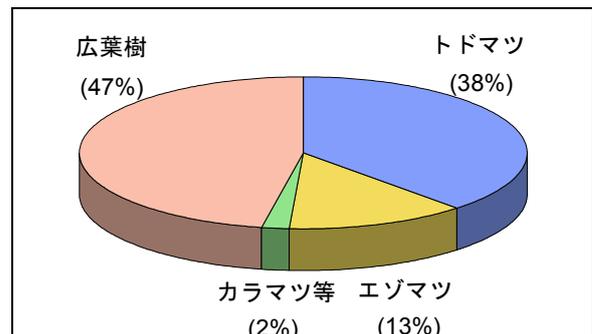


【国有林の蓄積】 17,083千m³

(1) 人工林・天然林別



(2) 樹種別



森林の役割

国有林は、河川上流部の水源地帯に多く分布し、その大半を天然林が占めています。

これら国有林については、公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行うため、国有林野を重視すべき機能に応じ、「山地災害防止タイプ」、「自然維持タイプ」、「森林空間利用タイプ」、「快適環境形成タイプ」及び「水源涵養タイプ」の機能類型に区分し、各機能の発揮を目的とした管理経営を行うこととしています。

○山地災害防止タイプ (51,875ha)

- ・山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林
- ・根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持

○自然維持タイプ (27,144ha)

- ・原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林
- ・良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持

○森林空間利用タイプ (3,096ha)

- ・保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林
- ・保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成

○快適環境形成タイプ (宗谷流域該当なし)

- ・騒音や粉塵等から地域の快適な環境を保全する機能の発揮を第一とすべき森林
- ・汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持

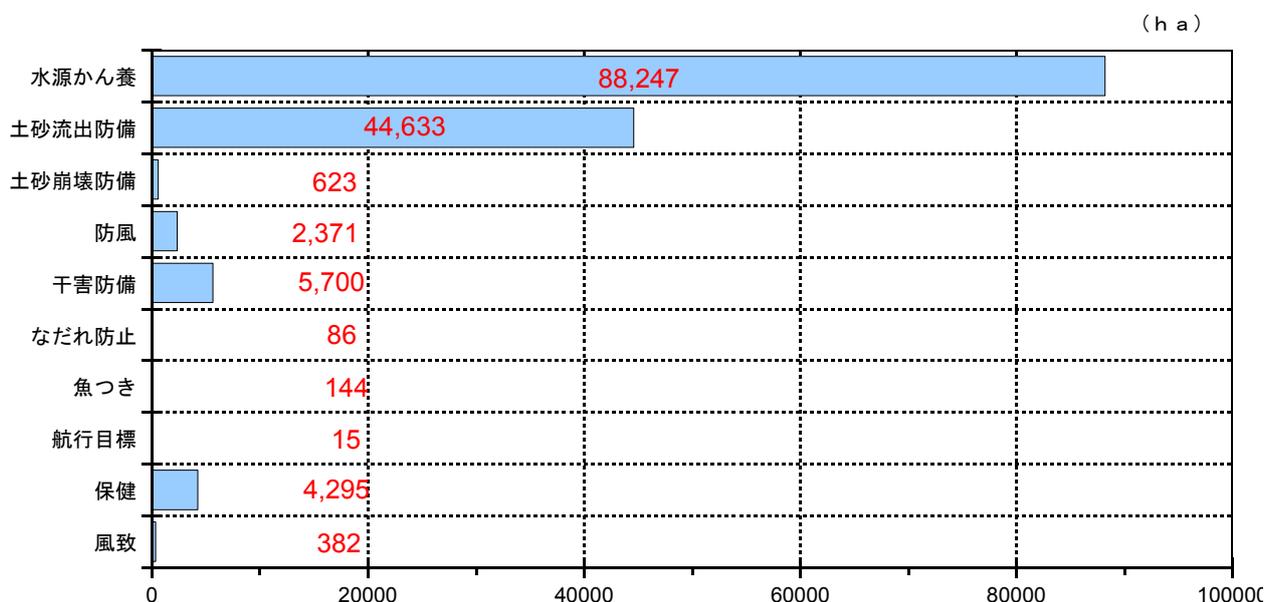
○水源涵養タイプ (79,871ha)

- ・良質な水の安定供給など水源の涵養の機能を第一とすべき森林
- ・人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮

【保安林面積】

保安林とは、水源のかん養、災害の防備、生活環境の保全・形成、保健休養の場の提供、その他公共の目的を達成するために指定し、その森林の保全及び適切な施業を実施するものであり、管内では、次の図のとおり指定しています。

国有林に占める保安林の割合は、89%（143,911ha。重複指定を除く）です。



(注) 各保安林面積には重複指定（兼種保安林）を含む。

一般会計化を踏まえた適切な業務運営の推進

平成25年度から国有林野事業の一般会計化を踏まえ、宗谷総合振興局や管内9市町村と林政連絡会議等を開催し、地域行政の課題や要望の把握に努め、国有林野事業実行に反映させることを検討しつつ業務運営を進めます。



宗谷総合振興局での宗谷管内林政連絡調整会議



市町村林政連絡会議（枝幸町）

公益重視の管理経営のより一層の推進

【森林整備】

機能類型に応じて各機能を発揮させるため、計画的、効率的に除伐、間伐等森林整備を推進します。



下刈後（猿払村）



間伐後（枝幸町）

【地域の要望に応える治山事業の推進】

○利尻島

河川の荒廃溪流を安定させ、不安定土砂をコントロールするため、治山ダム（低ダム）を適正に配置し、人家や漁業等への被害を防止しています。

ヤムナイ沢（利尻富士町）においては、平成24年度に治山ダムを1基設置するなど、これまでに102基の治山ダムを設置しました。

大空沢川（利尻町）においては、平成24年度に治山ダム1基、護岸工55mを設置するなど、これまでに治山ダム34基、護岸工3,860mを施工してきました。



ヤムナイ沢の低ダム群



ヤムナイ沢の治山ダム（平成24年度施工）

○稚内市

稚内市の市街地は、国有林に隣接しており、土砂崩れなどから住民等を守るため、昭和26年から治山ダム、土留工等を約3百箇所で施工しました。

平成24年4月に稚内市港国有林において、法枠工等の一部が崩落したため、応急的に緊急対策工事を施工し、住民の安全確保しました。今年度は、既設施設の崩落防止対策等の全面的な改良工事を実施します。



北電裏山地区の崩落防止工事（平成24年度施工）

【路網整備の推進】

林業専用道開設は、森林施業の計画、既存の路網の展開状況等を勘案し計画・実施しています。

また、林道改良や林道点検等施設の点検を行い、安全の確保に努めています。

【稀少種の保護管理及び自然再生】

○保護林の保護

希少な森林生態系からなる自然環境、礼文島のレブンアツモリソウ、林木の遺伝資源等を保存するため、特に重要な区域を「保護林」に指定し、適切な保護・管理に努めています。



利尻・礼文森林生物遺伝資源保存林



稚咲内海岸砂丘林植物群落保護林



レブンアツモリソウ群生地植物群落保護林



クツチャロ湖特定動物生息地保護林

○稀少種等を保護するための巡視等

レブンアツモリソウ自然保護管理員やグリーン・サポート・スタッフ（森林保護員）が巡視を行い、植生の踏み付け防止や入林者のマナー向上等を指導し、希少野生動植物等の保護・管理を行っています。



巡視活動



リーフレットの配布

○お魚を殖やす植樹運動

漁業協同組合と「清流を守り豊かな海を育むための森林づくり活動の推進に関する協定」を締結し、国有林のフィールドを提供するなど、漁民たちの植樹による森林づくりを支援しています。



利尻漁協女性部



枝幸漁協女性部



香深漁協女性部

森林・林業の再生に向けた貢献

【誘導伐とコンテナ苗の一括発注によるコスト縮減策の検証と民有林への普及】

平成24年度に北海道初となる誘導伐とコンテナ苗の一括発注に取り組み、間接経費の削減効果やコンテナ苗植付の効率性の検証を行いました。

また、宗谷流域としては、コンテナ苗の植栽が初めてとなることから、現地検討会を開催し、民有林関係者にコンテナ苗の植栽を見ていただくとともに意見交換を行いました。

25年度においても引き続きコスト縮減策の効果を検証するとともに、新たに疎植を試験的に行い、育林費のコスト縮減に取り組みます。



宗谷流域森林・林業活性化協議会幹事会による現地検討会



帯状による誘導伐（伐採幅33m）実施箇所（豊富国有林）



コンテナ苗に係る工期調査及び現地検討会

【低コスト・高効率作業システムの普及】

「森林・林業再生プラン」の実現に向け、従来のトラクタ集材中心の作業システムから、壊れにくい森林作業道と高性能林業機械を組み合わせた「低コスト・高効率作業システム」で施業を行い、その成果等を民有林と情報共有し、森林・林業の再生に寄与しています。



ハーベスタによる造材

【森林共同施業団地の設定】

中頓別町と宗谷森林管理署では、町有林と国有林の効率的な森林整備と路網の相互利用及び維持管理を行うため森林整備協定を締結し、豊平地域に森林共同施業団地を設定しました。

平成25年度は、林業専用道の開設等を行うとともに、現地検討を行い技術の共有を図ります。



運営会議



国有林・町有林に至る路網の整備

【民有林支援の活動】

市町村からの要請等を踏まえ、管内4地区に設置された市町村森林整備計画実行管理推進チーム等の全てに参画し、民有林支援を行っています。

平成25年度においても、引き続き支援活動を行い民有林との連携を図ります。



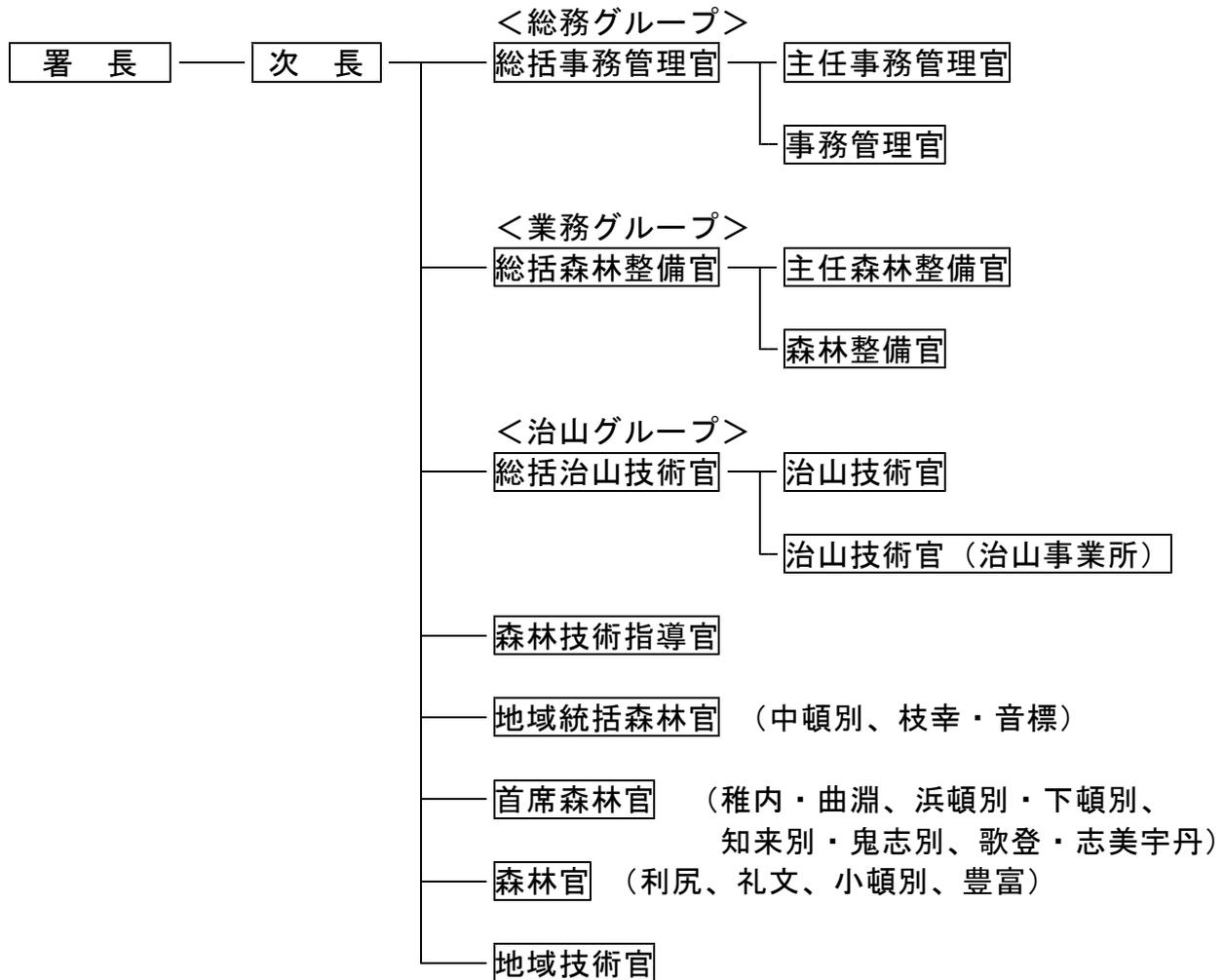
浜頓別町での推進チーム会議



豊富町での推進チーム会議

組織図

平成25年4月1日現在



署の沿革

年 月	記 事
明治41年4月	営林区署制度の発足により、網走営林区署宗谷分署を設置する。
大正13年4月	網走営林区署から、旭川営林区署の管轄となり稚内分署となる。
昭和3年6月	旭川営林区署から分離し、稚内営林区署に昇格する。
昭和22年5月	林政統一により、旭川営林局稚内営林署となる。
昭和38年8月	稚内・中頓別営林署の管轄区域の一部を分割し、浜頓別営林署を新設する。
平成10年3月	中頓別営林署が浜頓別営林署へ統合され、中頓別森林管理センターとなる。
平成11年3月	稚内営林署が宗谷森林管理署となる。 浜頓別営林署が宗谷森林管理署に統合され、浜頓別事務所となる。 中頓別森林管理センターが宗谷森林管理署に統合となる。 枝幸営林署が宗谷森林管理署に統合され、枝幸事務所となる。
平成13年8月	浜頓別事務所、中頓別森林管理センターを廃止する。
平成16年3月	枝幸事務所を廃止する。 流域整序により豊富部内を宗谷森林管理署に編入する。
平成25年4月	グループ制となる。

平成25年度事業概要

【業務方針】

1. 一般会計化を踏まえた適切な業務運営の推進
2. 公益重視の管理経営のより一層の推進
3. 森林・林業の再生に向けた貢献

【事業量】

(1) 収穫

単位：千m³

総数	主伐	間伐		保育間伐 等
		立木	素材	
48.4	0.2	7.5	34.2	6.5

(2) 販売

単位：千m³

立木			素材		
総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹
7.5	5.7	1.8	20.2	18.1	2.1

(3) 造林

単位：ha

地拵	植込	根踏み	改植	下刈	除伐等	保育間伐
46	20	71	27	4,214	126	77

(注) 面積は、実行予定面積である。

(4) 林業専用道

単位：km

新設		改良	維持修繕
路線数	延長	延長	延長
4	8.1	(10m)	670.7

(5) 作業道・歩道等

単位：km

作業道		歩道		防火線整備
新設	修理	新設	修理	新設
	152.1	32.9	120.2	4.2

(6) 治山

	内容	
	工種	数量
復旧治山	○山腹工(コンクリート法枠工)	0.3(ha)
	○山腹工	0.2(ha)
	○コンクリート床固工	2基 500(m ³)
	護岸工	101m
	○コンクリート床固工	1基 430(m ³)
	○山腹工(雪崩防止柵)	0.73(ha)

お問い合わせ先

【署】

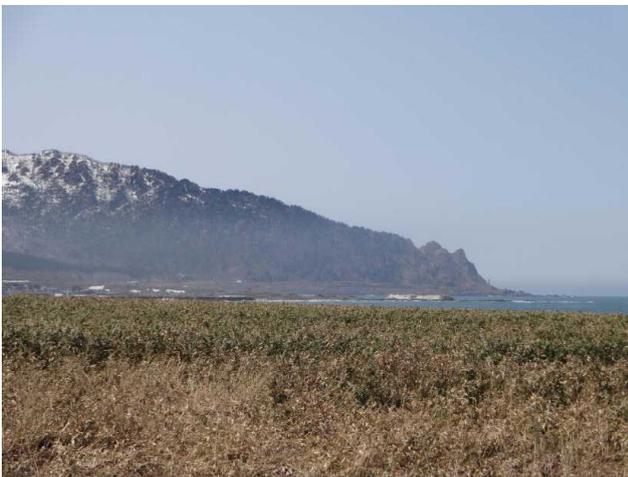
本 署	〒097-0022 稚内市中央1丁目2番7号 電話 (0162)23-3617 050-3160-5740 (IP) F a x (0162)23-3615
-----	--

【森林事務所】

稚 内	〒097-0021 稚内市港4丁目6-5 電話・F a x (0162)22-1200
利 尻	〒097-0101 利尻郡利尻富士町鴛泊字栄町195-1 電話・F a x (0163)82-1529
礼 文	〒097-1201 礼文郡礼文町香深村字ヘウケトンナイ 電話・F a x (0163)86-1606
浜 頓 別	〒098-5713 枝幸郡浜頓別町北3条4丁目 電話 (01634) 2-3564・F a x (01634)2-4196
鬼 志 別	〒098-6232 宗谷郡猿払村字鬼志別西町183 電話・F a x (01635)2-3639
中 頓 別 小 頓 別	〒098-5551 枝幸郡中頓別町字中頓別 電話 (01634)6-1313・F a x (01634)6-1314
枝 幸 歌 登	〒098-5805 枝幸郡枝幸町幸町8121 電話 (0163)62-1408・F a x (0163)62-1042
豊 富	〒098-4110 天塩郡豊富町大通1丁目 電話・F a x (0162)82-2844

【治山事業所】

鴛 泊	〒097-0101 利尻郡利尻富士町鴛泊字栄町195-1 電話・F a x (0163)82-1529
-----	--



神威岬



利尻山の万年雪